令和元年度

農商工等連携推進事業まとめ

実施事項

1．連携フォーラム・分科会の開催
2．ヒアリング調査の実施
3．モデル事業の実施
4．広報誌の発行

概 要

４年目にあたる令和元年度は昨年度に引き続き連携の可能性を広げるべく、連携フォーラムや広報誌にて認知促進を図るとともにモデル事業のストックを増やした。また、分科会をフォーラム内で行うことにより、より多くの情報共有や意見交換ができる場を設け、連携を深めた。

1．連携フォーラム・分科会の開催

農業をテーマに多様な主体が出会い交流する場として開催するとともに、課題解決や連携を高めるために情報共有を行った。

第７回連携フォーラム　令和２年１月 20 日（月）@新百合トウェンティワンホール

第１部　フォーラム

■特別講演（㈱井出トマト農園　井出寿利氏）
「これからの都市農業経営に大切なこと」

■モデル事業者からの話題提供

今年度のモデル事業の実施状況を報告するとともに、自動的に一定時間でスライドを流し、発表を行う方式で各事業の内容と今後の展開の発表を行った。

▲発表の様子

▲モデル事業に関する試食コーナー

第２部　分科会

■質疑応答・意見交換

▲４事業者それぞれのブースでの質疑応答・意見交換の様子

■自由交流
■名刺交換
■全体講評

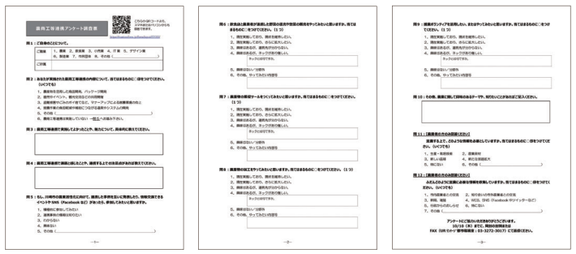
▲農園・農家の名刺・チラシ等の制作相談

2．ヒアリング調査の実施

今まで本事業に関わった方々を対象に、今後の可能性について伺った。ヒアリング調査結果は、広報誌（令和元年 11 月号）に報告した。

■調査概要

内　容：川崎市内での農商工等連携について、農業者の視点からどのような効果や課題があるのかを把握した。
　　また今後、SNS などによるネットワークづくりに関する意向を把握した。
対象者：これまで農商工等連携を具体化された方々、一昨年開催の連携部会等に参加された方々
期　間：令和元年９月 25 日～ 10 月 10 日
送付数：44 件
回収数：22 件（回収率 50%）
属　性：農業者　11 名
　　福祉関連　３名
　　飲食業、IT 業、市民団体　各２名
　　小売業、デザイン業　各１名



3．モデル事業の実施

市の公募及び審査会によりモデル事業が採択され、農業者が多様な主体と連携することにより、都市農業の可能性を広げることを目的としている。

川崎の FARM TO TABLE ～川崎市を食農でもっとおもしろく！～

新規　農業×飲食店

株式会社 GREET ／ビストロキュー

■実施事項

消費者が近いというレストランの利点を活かし、客に市内産農産物の美味しい食べ方や調理方法を惣菜の販売とともに紹介し、農産物と生産者の価値向上に取り組んだ。また、活動名およびロゴを制作し、シールや前掛け、エプロン等に使用した。また、生産者と消費者の交流イベントを開催することで、つながりを深めた。

▲店頭での惣菜販売

▲ロゴの制作と前掛け等のグッズ

多摩川梨ブランディング事業

新規　農業×デザイン

一般社団法人カワサキノサキ

■実施事項

多摩区に古くから住む市民には親しまれている多摩川梨だが、近年は転入者が多く、認知度が低下している。そのため、多摩川梨全体のブランディングや他農園とのパンフレットデータの共有化等を目指し、多摩川梨 PR ツールとしてパンフレットとチラシの作成を行った。それにあたり、歴史調査や梨農園への取材、プロによる写真撮影、イベントでの販売等も取り組んだ。

◀ 作成したパンフレット

農産物の受託加工「和光大学かわさきブランド」

新規　農業×大学

株式会社 CarnaEst

■実施事項

都市農業経営の多角化のひとつとして６次産業化があるが、生産者自らが取り組むには設備投資や手間などハードルが高く困難である。本事業では和光大学や地元洋菓子店と連携して販売に適さない農産物（特に果樹）を生産者から買い取り、加工等を請け負う取組を実施した。ドライフルーツやジャム、酒などを製造し、パッケージデザインも行った。

和光大学 かわさきブランド

▲ロゴの制作

▲加工品

▲加工の様子

農業者と援農ボランティアのマッチング応援

新規　農業×IT

株式会社スタイル・フリー

■実施事項

「人手が足りない」「忙しい時に手伝ってほしい」という農業者と「農作業をしてみたい」「農家さんに協力したい」という市民をマッチングするサービスを立ち上げることで、市内の農業を盛り上げる取組を行った。初めての方でも気軽に利用できるサービスを目指し、Web サイトを立ち上げた。また、制作にあたりボランティア団体や農業者にヒアリングを行い、開設の際にはチラシ配布や訪問等で宣伝を行った。

▲マッチングサービスのイメージ

▲ボランティア参加の様子

4．広報誌の発行

都市農業活性化に関する農商工等連携推進事業の取組を、広報誌を通じてより多くの人に周知することを目的に年２回発行した。

１回目：令和元年 11 月号

■1000 部発行

■概要

・今年度の予定
・農商工等連携メディア掲載情報
・アンケート実施結果について
・モデル事業者の紹介

２回目：令和２年３月号

■1000 部発行

■概要

・第７回連携フォーラム開催報告（特別講演概要、モデル事業者実施報告、分科会概要、全体講評について）